

桑山哲郎, 「画像からくり」第72回 鏡に映る顔: 絵画と写真におけるテクニック, 日本写真学会誌, 第89巻1号, pp.1-2 (2026年2月).

【口絵】

## 画像からくり



Fig. 1 鏡に正面から向かっている状態



Fig. 2 鏡の角度を変えて撮影



Fig. 3 鏡に向かう女性の浮世絵「姿見七人化粧 髪(びん)直し」(寛政4年~5年 1792年~1793年 北川歌麿)【Wikipediaより】<sup>1)</sup>

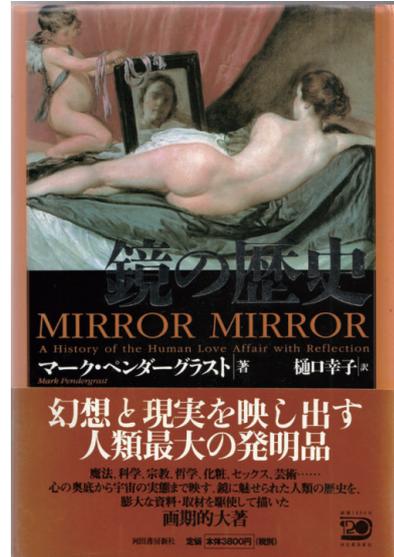


Fig. 4 「鏡の歴史」<sup>2)</sup> の表紙 (ペラスケス「鏡のヴィーナス」1647年~1651年頃)



Fig. 5 合わせ鏡を用いた化粧の図 (豊国 安政5年 1858年)【国立国会図書館デジタルコレクション】<sup>3)</sup>



Fig. 6 鏡の像の拡大図

## 口絵解説

## 「画像からくり」

## 第72回 鏡に映る顔：絵画と写真におけるテクニック

## 72 Face Reflected in the Mirror : Techniques in Painting and Photography

桑山 哲郎 Tetsuro KUWAYAMA

平面鏡は目の角膜反射である凸面鏡と並び、人類が出会った最初の光学器具とされている。水面に自分の姿を映す水鏡から、水瓶の水面そして円形の金属製の鏡に発展したとされている。顔を映すことは使用方法として最重要と言えるが、絵画やイラスト、そしてコマースフォトに現れる鏡については、注意すべきテクニックがある。スタジオに人物を配して撮影を行っている人たちにとっては、あまりに「当たり前」過ぎる事なのだが、写真に関わる一人としては、一通りの解説をしておきたい。

正面の鏡に向かい、自分の顔を映すのは特別な事ではなく、洗面所の鏡に毎朝向きあっている方は多いと思われる。けれども鏡に向かう人物を絵画やイラストに描き、コマースフォトなどに撮影する場合にはちょっとしたテクニックが必要になる。解説のための写真を撮影するのにモデルとなる人物に協力いただくのは大事なので、自宅近くの「ダイソー」に向かい、いつも並んでいる「マネキンヘッド<<リアル>>」と平面鏡を購入した。Fig. 1は、鏡に正面から向かい、顔を映している状態を斜め後方から撮影している。光は反射の法則に従うので、鏡の表面に垂直に入射した光線は垂直方向に反射され、自分の顔を見ることが出来る。一方鏡を斜めから撮影すると、斜めに入射した光線は反射の法則に従い反射されて斜め方向の光景が見えることになる。このとき顔は鏡の画面から外れることとなる。そこで画家やカメラマンは、鏡を回転し顔が鏡の中央に見える様にする。Fig. 2は鏡を回転した状態である。鏡の角度がはっきり分かる様に、長方形の鏡を台に置き、テーブルの模様との関係で角度が分かり易いようにしている。

絵画作品、イラスト、コマースフォトではほぼすべて、顔が鏡の面に見える様にしている。これらは物理法則を教える事や、光学部品の働きを正確に記述することなどは目的ではなく、画像を用いてメッセージを観賞者、消費者に伝えることを目的としている。鏡に顔が見えなければ、価値が無い事となる。浮世絵では鏡に向かい化粧をしている女性が数多く描かれている。Fig. 3は喜多川歌麿の作品「姿見七人化粧鬢(びん)直し」【寛政4年(1792年)頃から制作】<sup>1)</sup>で、鏡を覗き込む女性の顔が鏡の中央に描かれている。手鏡は楕円形に描かれているため、実際の鏡がどちらに向いているのか判定できなくなっている。この浮世絵は東京国立博物館や数多くの海外美術館が所蔵していて、ウィキペディアでパブリック・ドメインの扱いとなっている。

西欧絵画では、浮世絵ほど多くはないが作品が存在する。Fig. 4は約500ページもある大書「鏡の歴史」<sup>2)</sup>の表紙に用

いられているディエゴ・ベラスケス【1599年～1660年】の作品「鏡のヴィーナス」である。鏡が現れる代表的な絵画として選ばれている。この場面で、モデルの女性は鏡の中央に画家の顔を見ていたはずであるが、絵画を観賞する人は気付くことは少なく、鏡の中の顔により感情移入を誘う。

浮世絵では、鏡を極めて丁寧に扱っている。鏡台に向かい手鏡で合わせ鏡をしている浮世絵も多数存在する。Fig. 5はその一つで豊国「江戸名所百人美女 柳はし」<sup>3)</sup>である。化粧をしている姿で襟足の白粉の塗り具合を確かめているが、この女性が注視している部分が克明に描き込まれている。国立国会図書館デジタルコレクションから入手できる。高画質なのでFig. 6に部分拡大図を掲載する。合わせ鏡をしている化粧の図は他にも多数見つけることが出来るがどれも皆、光の反射の法則には従わず浮世絵の中の人物が見ている光景が描き込まれている。

画像は、洞窟壁画の最初期からメッセージを伝える手段であり、文明・文化の一部であること、鏡については、日本の浮世絵の貢献が大きい事をご理解いただきたい。

## 参 考 文 献

- 1) ウィキペディア, 「美容」.  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%BE%8E%E5%AE%B9>
- 2) マーク・ペンダーグラスト, 樋口幸子 訳, 「鏡の歴史」, 河出書房新社 (2007).
- 3) 豊国, 国久, 「江戸名所百人美女 柳はし」, 湊小, 安政5年(1858年) 国立国会図書館デジタルコレクション.  
<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000039-I1311388>